

# 家畜衛生広報



## ながの

長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0944 長野市安茂里米村1993  
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665  
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

### 寒冷期(晩秋から早春)の

## ウイルス性の下痢症や呼吸器病に注意しましょう！！

朝夕冷え込む季節となり、牛にとっても体調を崩しやすく、下痢症や呼吸器病の発生がみられる時期となってきました。

とくに、牛RSウイルス病と牛コロナウイルス病は、最近では散発的に発生しています。

牛RSウイルス病は、細菌やマイコプラズマとの混合感染で重篤化することもあります。また、牛コロナウイルス病は、乳量低下などを引き起こし、いずれも経済的損失につながる疾病です。

#### 寒冷期は

- ・寒冷感作や気温の変動が大きくストレスを受けやすい
- ・気温が低いことでウイルスが不活化されにくい
- ・すきま風が入らないよう閉め切った舎飼いでウイルスが伝播しやすい



とくに、ウイルスに起因する下痢症や呼吸器病の集団発生が起こりやすい

#### 予防対策は

##### ◎ストレス軽減

適切な飼養管理(十分な換気、衛生的な環境など)  
輸送や導入時のケア(十分な給水、ビタミン剤等の投与)



##### ◎ワクチン接種



呼吸器病 対策	下痢症 対策
牛ウイルス呼吸器5種混合(生): 妊娠牛には接種できません	牛コロナウイルス病(不活化) 牛下痢5種混合(不活化)
牛ウイルス呼吸器5種混合(不活化)	
牛ウイルス呼吸器6種混合(生・不活化)	

##### ◎「病気を持ち込まない、持ち出さない」衛生対策

出入り口付近に石灰帯等を設置し、車両の出入りの際に消毒  
畜舎の出入り口付近に踏み込み消毒槽を設置して靴底を消毒

**消毒は伝染病予防の第一歩**  
まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう

